

ざぶとん材の構造及び特長



名 称		特 長
袋体材	不織布 (ポリプロピレン) 重さ：70g/m ² 厚さ：0.5mm	不織布は、セメント粒子は通さないが、空気・水分を通すため、脱水され、セメントミルクの養生を短縮
保持材	パーム (椰子の実繊維) 重さ：850g/m ² 厚さ：55mm	セメントミルクは、袋体の中のパーム(椰子の実繊維)に含浸・保持させるため、袋体の中に均等に充填され、施工精度が向上
中詰材	セメントミルク	中詰材は、アンカー工で使用するセメントミルクを充填するため、特別な資機材は不要
ざぶとん材の適用等		ざぶとん材による不陸整正は、10cm程度を標準とし、それ以上の場合は、まくら材を併用して対応。 ざぶとん材は、受圧板の形状寸法により、1枚/セット～6枚/セット程度に分割して製作されるため、受圧板の素材および形状寸法を問わず、すべての受圧板に適用可能

速い・安い・ひび割れ防止の

ざぶとん裏込め工法

特許番号 特許第3413108号 NETIS登録番号 KT-040008V



速い・安い・ひび割れ防止の

ざぶとん裏込め工法 (特許第3413108号) (NETIS KT-040008V)

ざぶとん裏込め工法とは

新開発のざぶとん材にセメントミルクを注入・充填し、受圧板と凹凸地盤とを、短期間で、簡単に、かつ確実に密着させることにより、受圧板のひび割れを防止する、新しい裏込め工法です。

ざぶとん裏込め工法の特長

品質性

- ざぶとん裏込め工法により、受圧板に地盤反力が等分布に作用し、受圧板のひび割れを防止。
- セットパイプ工法により、受圧板の重み等でざぶとん材のつぶれを防止。

経済性

- ざぶとん裏込め工法は、従来の裏込め工法(モルタル吹付工等)と比べ、型枠・吹付・コテ仕上げ等が不要のため、経済性の向上と、工程の短縮が可能。

施工性

- ざぶとん裏込め工法により、凹凸地盤の不陸整正が短期間で、簡単に、かつ確実に施工可能。

速い・ずれない・つぶれ防止の

セットパイプ工法 (特許第4355618号)

セットパイプ工法とは

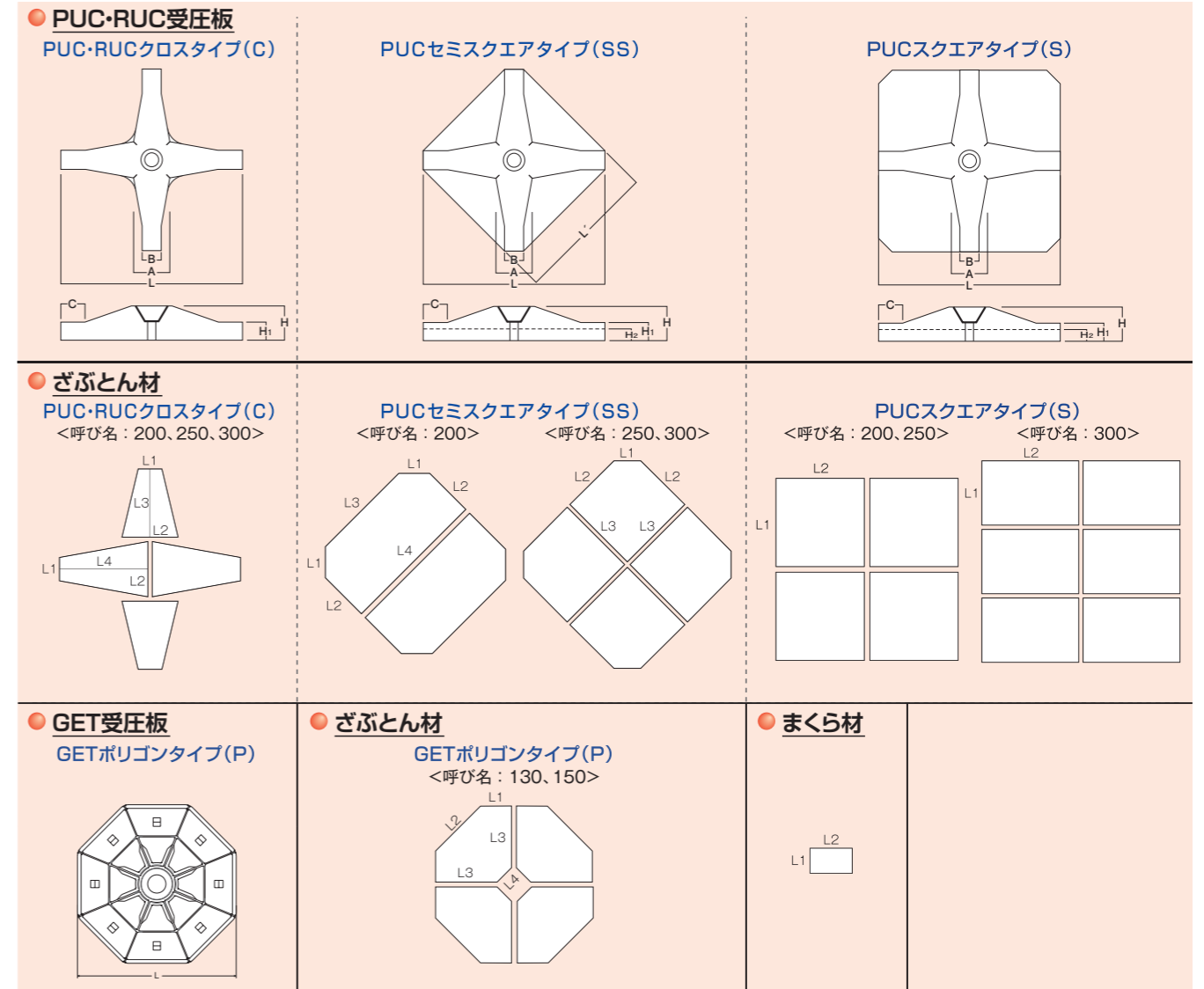
セットパイプ(ガイドパイプ+受け板)を使用する事により、ざぶとん材のつぶれと、アンカーの芯のずれを防止する、受圧板セット工法です。

特長

- 当工法の使用により、受圧板の重みによるざぶとん材のつぶれを防止し、また受圧板のずれが無くなるため、据付時間が短縮。
- 当工法の使用により、受圧板の仮セット(仮緊張)が不要。



受圧板用ざぶとん材の規格



受圧板 (mm)					ざぶとん材 (mm) ()内はパーム寸法						
呼び名	L	L'	A	B	厚さ	L1	L2	L3	L4	枚数/セット	
NPC EPC NRC ERC	200	1900	—	600	413	55	510 (350)	850 (600)	800 (600)	1100 (900)	4
	250	2400	—	600	350	55	470 (300)	840 (600)	1050 (850)	1300 (1100)	4
	300	2900	—	600	350	55	480 (300)	830 (600)	1300 (1100)	1600 (1400)	4
NPSS EPSS	200	1850	1560	600	350	55	400 (320)	640 (500)	1080 (1000)	1650 (1450)	2
	250	2350	1910	600	350	55	390 (310)	820 (680)	1100 (900)	—	4
	300	2850	2260	600	350	55	440 (350)	940 (800)	1250 (1050)	—	4
NPS EPS	200	1850	—	600	350	55	1050 (850)	1050 (850)	—	—	4
	250	2350	—	600	350	55	1300 (1100)	1300 (1100)	—	—	4
	300	2850	—	600	350	55	1100 (900)	1550 (1350)	—	—	6
GETP	130	1300	—	—	—	55	410 (270)	620 (540)	640 (500)	300 (210)	4
	150	1500	—	—	—	55	450 (310)	700 (620)	740 (600)	300 (210)	4
まくら材	—	—	—	—	—	55	500 (300)	700 (500)	—	—	1